コースの難易度

各モデルコースのページでは、コースの難易度を体力レベルと登山レベルにわけ、それぞれ3段階で示しています。コース選びの目安としてご利用ください。

■体力レベル　歩行距離や高低差を考慮して設定しています。

- ☆★★ ウォーキングや散策程度のコース
- ☆☆★ アップダウンもあるが、運動している人なら問題なく歩けるコース
- ☆☆☆ アップダウンが激しく距離も長い、健脚向けのコース

■登山レベル　技術的な難易度を考慮して設定しています。

- ☆★★ 道標が完備され、ウォーキング感覚で歩けるコース
- ☆☆★ 登山道を歩くが、道標や整備が行き届いており、比較的安心して歩けるコース
- ☆☆☆ 登山道メインのコース。または、道標や整備等が行き届いてない部分があり、地図読みやルートファインディングなど、登山の経験や技術が必要なコース

※個人の体力や登山経験、天候や荷物の量などにより、難易度は変わります。
また、登山道の状況は自然災害などの影響で変化することもあります。
（本マップ＆ガイドの記載内容は、2022年7月時点のものです）

アクセス問い合わせ先

- 南海電鉄テレホンセンター …… 06-6643-1005
- JR西日本お客様センター …… 0570-00-2486
- 泉北高速鉄道（運輸業務課） …… 0725-57-3000
- 近鉄電車テレフォンセンター …… 050-3536-3957
- 和歌山バス（和歌山営業所） …… 073-445-3131
  （和歌山市駅詰所） …… 073-431-8751
- 和歌山バス那賀（那賀営業所） …… 0736-75-2151
- 南海ウイングバス・オレンジバス …… 072-467-0601
- 南海バス（営業課） …… 072-221-0781
- かつらぎ町デマンド型乗合タクシー（有交紀北タクシー） …… 0736-22-3333
- 河内長野市日野・滝畑コミュニティバス（河内長野市都市計画課） …… 0721-53-1111
- 奈良交通バス（お客様サービスセンター） …… 0742-20-3100
- 御所市コミュニティバス（御所市企画政策課企画係） …… 0745-62-3001
- 金剛バス …… 0721-23-2287

問合せ先

葛城修験日本遺産活用推進協議会事務局
（和歌山県観光振興課内）

〒640-8585　和歌山市小松原通1丁目1番地
電話：073-441-2424
FAX：073-432-8313

葛城修験ホームページ
https://katsuragisyugen-nihonisan.com/

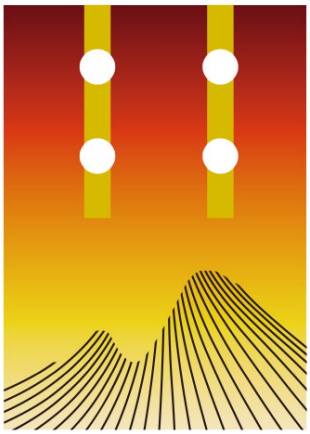
葛城修験Facebook
https://www.facebook.com/nihonisan.katsuragishugen/

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

JAPAN HERITAGE
日本遺産

令和4年度文化資源活用事業費補助金

日本遺産



葛城修験
里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

マップ&ガイド



葛城修験

全体マップ

紀伊半島全図



拡大図

YAMAPでは、ここで紹介している19のモデルコースについて、地図データが利用できます。詳細は右のQRコードから



Model Course ①

友ヶ島と加太周辺

【葛城第一経塚(友ヶ島)】

紀伊水道に浮かぶ友ヶ島と港町・加太のそぞろ歩き 葛城修験の地探訪最初の一歩

紀淡海峡に浮かぶ無人島、友ヶ島は、東から地ノ島、虎島、沖ノ島、沖ノ島北の神島の4島からなる。葛城二十八宿、第一の経塚、序品は、そのうちの虎島にある。

加太駅から西へ。加太淡嶋神社への石標があるところまで来たら路地を入っていくが、その前に少し北にある立派なビャクシンがそびえる常行寺に立ち寄っていこう。路地に入って道なりに左に折れると、本殿が国指定重要文化財の加太春日神社がある。運河を渡ってそのまま西へ。汽船乗り場を右に見て進むと、阿字ヶ峰行者堂への階段がある。階段を登りつめると役行者像が祀られた行者堂がある。階段を下り、さらに西へ向かうと、人形供養とひな流しで有名な淡嶋神社だ。

神社を拝したら、友ヶ島へ渡ろう。船着き場の野奈浦桟橋から虎島方面へは東に延びる坂道だが、せっかくなのでいったん西へ向かい、島の最高点のタカノス山と、友ヶ島観光のメインスポットである友ヶ島第3砲台跡へ足を延ばそう。海岸沿いに進み海の家を過ぎるとタカノス山への登り口がある。そのままま っすぐ進んで友ヶ島燈台へ進んでもよいが、時間に余裕がなくなる。広場になったタカノス山山頂からは、第3砲台跡はすぐ。旧日本軍の史跡だがレンガ造りの廃墟は異世界に紛れ込んだかのような空間になっている。そのまま進み下っていくと、南垂水と北垂水の低い峠があり、すぐ南が広場になっている。南垂水には開放感あふれるキャンプ場があり、広場近くには行場のひとつ、大瀧不動明王がある。

北垂水からは、閼伽井跡を往復する。虎島はよほど条件がよくないと渡るのは危険なのでここでは遥拝するだけにしよう。閼伽井跡に行く途中には行場の深蛇池もある。

散策を終えたら、野奈浦桟橋から船に乗り加太港へ。

歩行距離 ◆ 約10km
歩行時間 ◆ 3時間40分

体力レベル ☆★★
登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 南海加太線加太駅
↓ 15分
阿字ヶ峰行者堂
↓ 5分
加太淡嶋神社
↓ 5分
加太港
↓ 20分（友ヶ島汽船）
野奈浦桟橋
↓ 30分
タカノス山
↓ 5分
友ヶ島第3砲台跡
↓ 20分
南垂水
↓ 1時間
閼伽井跡
↓ 1時間5分
野奈浦桟橋
↓ 20分（友ヶ島汽船）
加太港
↓ 15分
GOAL 加太駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

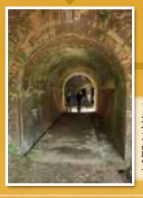
コース情報


加太の風情ある町並み。古い石の道標も残る


常緑樹が緑陰を作る友ヶ島の散策路を歩く


シーズンには観光客やハイカーでにぎわう野奈浦桟橋


開放感たっぷりの南垂水広場。キャンプ場もある


まるで古代遺跡のような第3砲台跡は旧日本軍の遺構


沖ノ島東端から虎島を見る。条件が揃わないと渡るのは危険

アクセス

往復

南海加太線加太駅

アドバイス

友ヶ島汽船は、天候により、欠航することがあるので、事前に確認しよう。冬季は、土・日・祝日のみの運行となる。加太散策と友ヶ島散策はどちらを先にしてもよいが、加太港までの行程で大半をめぐるので、先に済ませておくと効率が良いだろう。虎島への通路は崩壊しているうえ、満潮時には消滅するので危険。

Model Course ②

甲山から孝子越え

【葛城第二経塚(神福寺跡)】

第二経塚から展望抜群の甲山へ 孝子越えの古道をつないで

葛城第二経塚、神福寺跡へは、西ノ庄駅からアプローチする。

西ノ庄駅からまずは、西念寺へ向かおう。ここは葛城修験二ノ宿であり、かつての神福寺の十一面観音が移された寺である。駅から北に向かい、突き当たって左、250mほど先で右に折れる。西念寺の標柱があり、その奥に山門の鯱と狛犬が特徴的な寺が見えている。標柱からそのまま北へ直進、信号を渡り、突き当りで左、道なりに和歌山北高校への坂道を登る。道路が尾根上を直進するようになり、三叉路に出たら経塚の案内にしたがい右へ、炭焼きの家を横目に未舗装林道へ。やがて左手奥に第二経塚がたたずんでいる。

未舗装林道を緩やかに下って舗装路に出て、右へ。佐瀬川の集落に入ると二ノ宿の慈眼院がある。やがて坂になり登り切ると池がある。その横を通り猿坂峠に着いたら、県道標識の横から登山道に入る。すぐにベンチがあり南の展望が開けている。

しばらく尾根通しに歩くと、MBSの電波塔の前に「孝子駅・三輪神社」「甲山」の近畿自然歩道の道標がある。三輪神社へは右だが、いったん左に折れ、舗装路をたどって甲山に向かい展望を楽しもう。和歌山市街や友ヶ島が見える。三輪神社へは、舗装路を戻り、道標まで戻らずにそのまま進むと、NHKのテレビ塔に導かれるので、その脇から山道を下る。三輪神社に出たら道路に出て、すぐ北の交差点を右折する。すぐに孝子駅を示す道標に従い右折、近畿自然歩道を進む。自然歩道の道標を頼りに、八王子峠、藤原峠を越え、いったん道路に出て再び登山道に入る。快適な道で尾根に出る。やがて尾根を外れて右に下るように指示する自然歩道の孝子駅への道標がある。あとは道標に従いつつ川沿いに下り、集落を抜けて孝子駅へ。

歩行距離	約11km
歩行時間	3時間35分
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆☆★

コースタイム

START 南海加太線西ノ庄駅
↓ 10分
西念寺(二ノ宿観音堂)
↓ 40分
葛城第二経塚
↓ 30分
猿坂峠
↓ 20分
甲山
↓ 30分
三輪神社
↓ 25分
八王子峠
↓ 1時間
GOAL 南海本線孝子駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



葛城修験二ノ宿の神福寺から観音堂が移された西念寺



甲山の山頂。展望が抜群で、ハイカーも多い



葛城修験二ノ宿の慈眼院。修験者も多く訪れる



三ノ宿にある三輪神社と3つの石祠

アクセス

往路
南海加太線西ノ庄駅
復路
南海本線孝子駅

アドバイス

コースはおおむね近畿自然歩道として整備され、景色がよいところにはベンチも設置されている。甲山へは、MBS電波塔の道標から少し下り、コンクリートの舗装路を行くと、途中で登山道が右に派生する。甲山に寄らずに三輪神社を目指してもよい。また、孝子駅から少し足を延ばすと役行者ゆかりの金輪寺に立ち寄ることもできる。

Model Course ❸

飯盛山から札立山

役行者の母公が眠るという高仙寺から好展望の飯盛山、札立山を経て鳴滝不動尊へ下る行場めぐり

本コースは、経塚こそないが、葛城修験の重要な行場が多い。筆頭は孝子観音で知られる高仙寺で、役行者の母、白専女のものと伝わる墓がある。

孝子駅を出て、線路沿いに和歌山方面へ進んで踏切を渡る。「かんおんみち」の大きな石標が立っている。道なりに行くと孝子観音の道標があるので山裾を登っていく。尾根に着いたら山門が見え、階段が続いている。白専女の墓は、本堂の左手の山道を入ったところにある。

高野山を経て、飯盛山を目指す登山道は、本堂の右から続いている。高野山まではひと登りだが、藤戸山を経て札立山分岐までは、アップダウンが続き、決して楽な道のりではない。

札立山分岐まで来ると、飯盛山山頂は近い。登り始めると左手に千間寺跡があり、井戸跡と2つの祠が祀られている。葛城修験第四の行場であったという。傾斜がなくなると山頂はすぐそこだが、展望台手前に碑伝の置かれた石祠がある。展望台からは大阪湾が一望できる。

分岐に戻り、札立山を目指す。こちらはアップダウンが少ない快適な尾根道だ。札立山山頂もベンチがいくつも置かれ、南東の展望がよい。

札立山からは道標にしたがい南へ、鳴滝不動尊を目指す。500mほどで、道標を見逃さずに左の尾根へ。不動山を過ぎてひとつピークを越えると急坂となって、未舗装林道に下り立つ。林道を右に行くと、しっかりした道に出て左で、鳴滝不動尊に着く。正しくは鳴滝山圓明寺といい、独特の神妙な空気が漂っている。

不動尊から進むと、明るい道路に出る。しばらく川沿いに歩き、十字路は直進、次の角で右折してゆるやかな坂道を登る。池を過ぎたら鳴滝団地バス停がある。

歩行距離	約10km
歩行時間	4時間10分
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆☆☆

コースタイム

START 南海本線孝子駅
↓ 15分
高仙寺
↓ 15分
高野山
↓ 1時間20分
飯盛山
↓ 1時間10分
札立山
↓ 25分
不動山
↓ 30分
鳴滝不動尊
↓ 15分
GOAL 鳴滝団地バス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


役行者の母公の墓がある高仙寺。飯盛山の登山口


飯盛山と札立山をつなぐ尾根道。起伏が少なく歩きやすい


展望デッキが設けられた飯盛山山頂は大阪湾の展望台


鳴滝不動尊の圓明寺。独特の神妙な雰囲気が漂う

アクセス

往路
南海本線孝子駅

復路
鳴滝団地バス停 → 16分 和歌山バス → 南海本線和歌山市駅

アドバイス

本コースは登山になるので、足回りはトレッキングシューズなど、しっかりした靴で臨みたい。高野山から藤戸山周辺は林道が交錯するが、道標を確認すること。また、札立山の南の尾根で不動山への尾根に入るところも注意しておきたい。鳴滝団地から和歌山市駅のバスは比較的便数も多い。

Model Course ⑤

山中渓から雄ノ山峠越え（熊野古道）

【葛城第四経塚（さくら地蔵）】

熊野古道紀伊路をたどり 修験の史跡と信仰の道を楽しむ

葛城第四経塚のさくら地蔵は、信仰の道、熊野古道紀伊路から少し外れたところにある。実際の修験の道は雲山峰から滝畑集落に下り、境谷を抜けて根来寺に向かったようだが、厳しい道となるので、ここでは雄ノ山峠を越える古道をたどるコースとする。

さくら地蔵へは、山中渓駅を出て南へ向かうが、ここではいったん北へ。山中宿を散策し、古道風情を楽しもう。集落内には本陣跡や熊野九十九王子のひとつ、馬目王子社がある。駅に戻り主要道を南へたどっていく。葛城第四経塚のさくら地蔵へは左に分岐する道に入るが、道標があるので迷わないだろう。さくら地蔵は、山の斜面を少し登ったところにある。その先に境谷集落があるので、興味があれば立ち寄ってもいい。

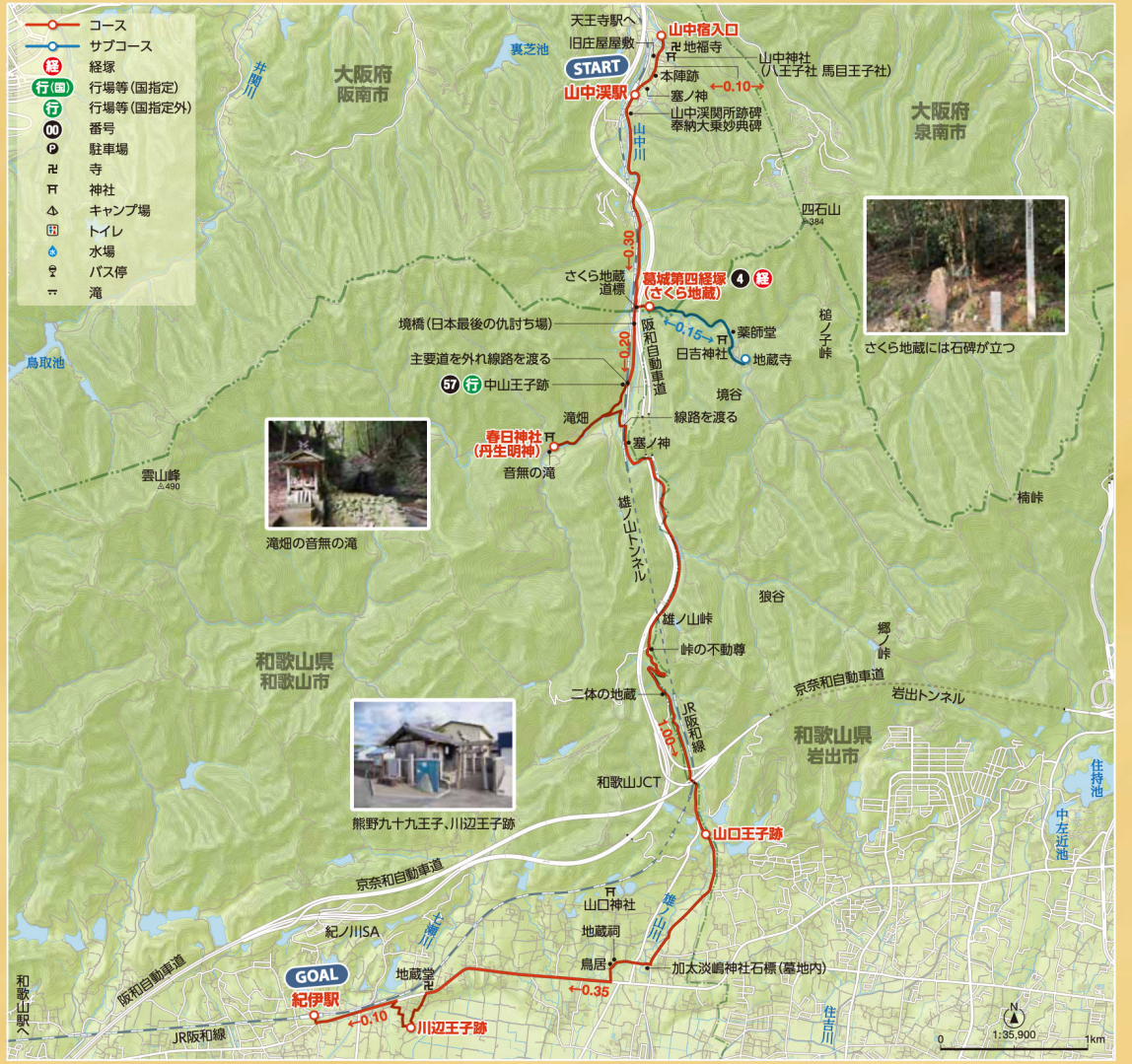
主要道に戻りさらに南へ。日本最後の仇討の碑が立つ境橋を越える。さらに進んで熊野古道の道標にしたがい踏切を渡って、碑伝の置かれた中山王子跡から滝畑集落に入る。集落の奥に進んでいくと、春日神社があり、行場の音無の滝がある。再び主要道に戻り、雄ノ山峠を目指してゆるやかに登る。この先、葛城修験に関する史跡はないが、塞ノ神、続いて雄ノ山峠を越えたところに、峠の不動尊があり、碑伝も置かれている。和歌山の街を見下ろし下っていき、JR線をくぐると、やがて山口王子跡がある。

加太淡嶋神社を示す古い石標がある墓地の角で右に折れ、山口神社鳥居前で左に折れて、県道7号に出て右へ。そのまま進むと紀伊駅に着くが、せっかくなので、地蔵堂の前で南に入る路地に入って、川辺王子跡に立ち寄っていこう。

歩行距離	約13km
歩行時間	2時間55分
体力レベル	☆★★
登山レベル	☆★★

コースタイム

START JR阪和線山中渓駅
↓ 10分
山中宿入口
↓ 10分
山中渓駅
↓ 30分
葛城第四経塚
↓ 20分
春日神社
↓ 1時間
山口王子跡
↓ 35分
川辺王子跡
↓ 10分
GOAL JR阪和線紀伊駅



滝畑の音無の滝

熊野九十九王子、川辺王子跡

さくら地蔵には石碑が立つ

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


旧街道の風情を残す山中宿。道には石畳が敷かれている


滝畑ののどかな風景を歩き春日神社（丹生明神）へ


滝畑集落入口に多くの碑伝が置かれる中山王子跡がある


雄ノ山峠を越え和歌山市内へ。歩道がなく車に注意

アクセス

往路
JR阪和線山中渓駅
復路
JR阪和線紀伊駅

アドバイス

本コースは終始舗装路歩きなので、スニーカーが向いている。雄ノ山峠越えの主要道は歩道がないので車の往来に注意すること。また、特に峠を示すものはない。和歌山側の市街に下りると道はやや複雑になるが、川辺王子跡までは、熊野古道の道標が随所にあるので、迷わないだろう。

Model Course 6

神通から根來寺

【葛城第五経塚(倉谷山)】

深い山中にたたずむ経塚を訪ね、峠を越えて古刹・根來寺へ

葛城第五経塚は、人知れぬ山中にたたずんでおり、数ある経塚のなかでもひときわ異彩を放っている。

神通バス停から西へ向かう道に入る。すぐに神通の集落に向かう橋を渡ると、集落入口に行所の浦上神社がある。行者が立ち寄った証の碑伝も掛かっているので、興味があれば立ち寄ろう。二瀬川沿いの道を延々歩くと、中畑の集落に入る。川沿いの道をそのまま進むと、やがて未舗装の林道となるが、なおも進むと左手に碑伝がくくられた杉の木がある。倉谷山の第五経塚は対岸の山上にあるが、経塚までは悪路なので、ここで遥拝しよう。林道をさらに直進していくと「馬わかれ」に出る。ここで左に折れて、ゆるやかに坂道を登り、土仏峠を越えていく。「根来山げんきの森」のP地点に来たら、案内板で道を確認して山道に入り、散策路を経由して管理棟を目指す。

親子連れでにぎわう管理棟まで来たら、園内地図でもう一度確認して西展望広場まで行き、根來寺へと下っていく。やがて境内地に入ると、根來寺の鐘に下り着く。不動堂を経て、根來寺の中心部に向かおう。根來寺は、平安時代末に葛城の山岳信仰を行っていた豊福寺に、覚鑁上人が円明寺を造ったことに由来する古刹。戦国時代には大勢力となり、豊臣秀吉の紀州攻めで、一時期は壊滅状態となったことはよく知られている。行者堂は、境内の西の方、聖天池の畔にたたずんでいる。

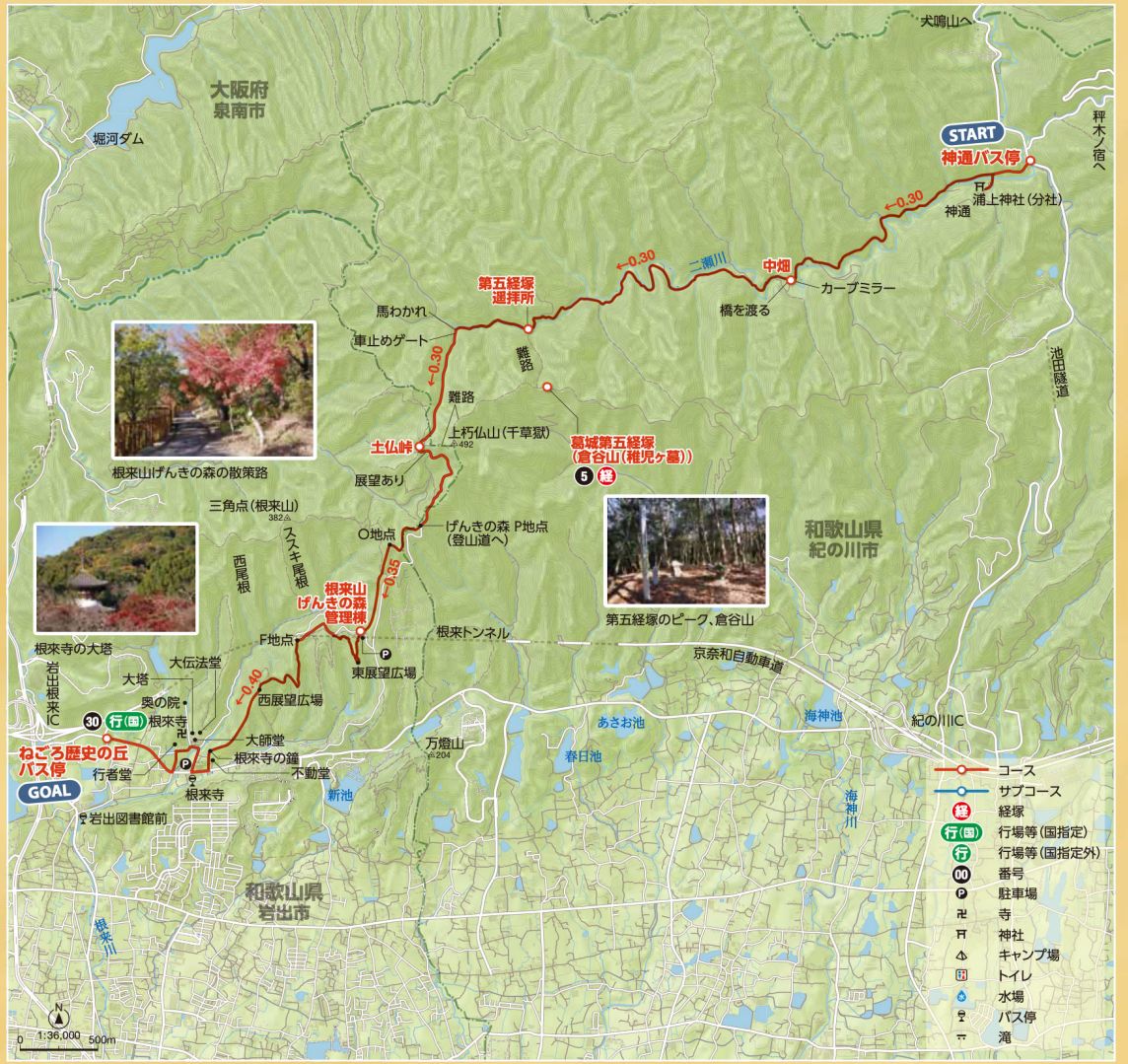
帰りは駐車場前に根來寺バス停はあるが、500m西のねごろ歴史の丘バス停まで歩けば、道の駅の物販や飲食施設が利用できる。

歩行距離	約14km
歩行時間	3時間5分
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆☆★

コースタイム

START 神通バス停
↓ 30分
中畑
↓ 30分
第五経塚遥拝所
↓ 30分
土仏峠
↓ 35分
根来山げんきの森管理棟
↓ 40分
根來寺
↓ 10分
GOAL ねごろ歴史の丘バス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


まずは神通集落にある浦上神社に参ろう


根来山げんきの森の東展望広場から見る紀州富士の龍門山


土仏峠を越えて根来山げんきの森P地点を目指す


西展望広場から根来寺へと下り着く。境内は広い

アクセス

往路

JR阪和線 熊取駅 → (20分 / 和歌山バス) → 神通バス停

復路

ねごろ歴史の丘バス停 → (18分 / 和歌山バス) → JR阪和線 和泉砂川駅 → (プラス11分 / 和歌山バス) → 南海本線 樽井駅

アドバイス

本コースは道路歩きも長いが、根来山げんきの森に入ると山道も多いので、トレッキングシューズが望ましい。また、根来山げんきの森は散策路が複雑に入り組む。まずは管理棟を目指すことを念頭に置こう。根来寺バス停または、ねごろ歴史の丘バス停からのバス便は便数が少ないので、事前に確認をしておこう。

Model Course 7

志野峠から中津川・粉河寺へ

【葛城第六経塚(志野峠)】

山中の六番経塚から 修験の里、中津川を訪れ、粉河寺へと下っていく

葛城第六経塚は、志野峠にある。松峠にも経塚の標柱があり、平成元年に志野峠の経塚が発見されるまでは、第六経塚の跡として参拝されていた。ここから桜池を経由して第七経塚を訪れ、熊野神社、中津川行者堂を経由して粉河寺に下るルートもある。ただし、**廃道に近い道を歩くので、上級者向けとなる。**

神通バス停から南下し、葛城修験の道標を見つけて左に派生する林道に入っていく。林道を緩やかに登り詰めていくと、志野峠に出る。第六経塚の「経塚」の文字が刻まれた石碑は、三叉路になった峠の左の土手の向こう側にある。峠をそのまま直進して下っていくと左手の林の中に松峠がある。その先で道は2分するが、そのまま直進して下っていくと、初代紀州藩主、徳川頼宣が造らせたという桜池に出る。さらに下り、西部運動場前で左折し、京奈和自動車道と並行して進んでいく。南西角に「桧木宿の跡」の碑がある交差点で左折して北上する。途中に分岐があるが、行者堂、熊野神社の表示もある。集落を抜けて進み、枝谷に沿うように「く」の字を描くと中津川行者堂がある。古さびて急な石段を登ると護摩鉢とお堂がある。葛城修験の重要な場所で、聖護院門跡の儀式、葛城灌頂もここで行われる。行者堂の先にあるのが熊野神社で、このあたりを前鬼谷と呼んでいる。ここから第七経塚を遥拝する。

遥拝したら、もと来た道を戻り、桧木宿跡を過ぎてなおも直進して南下していく。粉河寺の大門が正面に見えたところで左へ、参道を本堂へと向かう。本堂の左側の山中に行者堂がある。

粉河駅は、大門をくぐって南に直進したところにある。

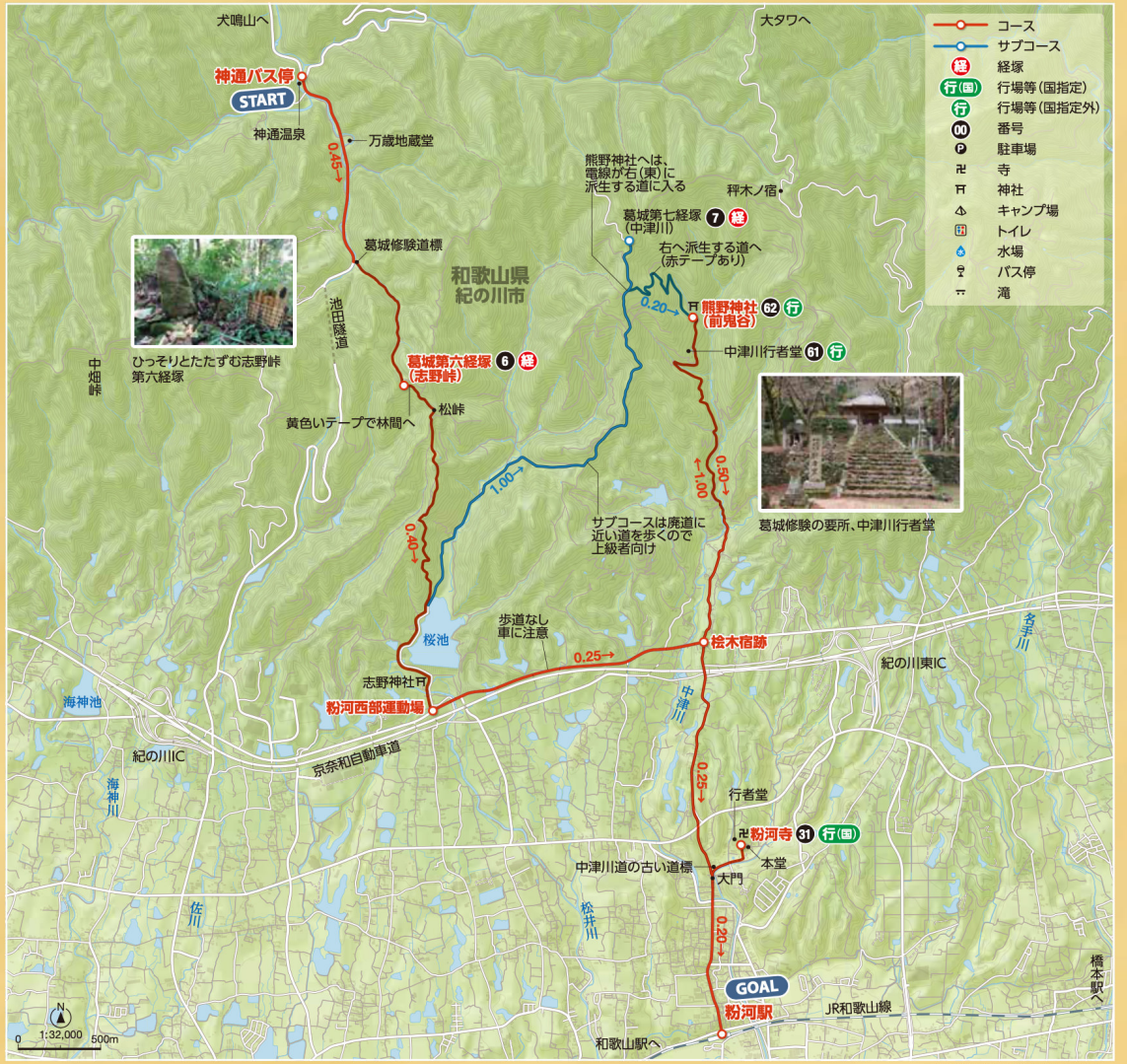
歩行距離 ◆ 約14km
歩行時間 ◆ 4時間25分

体力レベル ☆☆★
登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 神通バス停 →45分→ 葛城第六経塚 →40分→ 粉河西部運動場 →25分→ 桧木宿跡 →1時間→ 熊野神社 →50分→ 桧木宿跡 →25分→ 粉河寺 →20分→ GOAL JR和歌山線粉河駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


三叉路になった志野峠。左の土手の裏に第六経塚がある


葛城修験の行場のひとつ桧木宿跡。役行者の腰掛松があったという


中津川の前鬼谷にある熊野神社。立派な社殿 が建つ


荘厳な建物の粉河寺本堂。西国三番札所で巡礼者の姿が絶えない

アクセス

往路
JR阪和線 熊取駅 →20分 和歌山バス那賀→ 神通バス停

復路
JR和歌山線 粉河駅

アドバイス

志野峠の経塚は、峠を越えてすぐ左手の林の中にある。一部未舗装部分もあるが、道路歩きが主になるので、しっかりしたウォーキングシューズでもOK。粉河寺は、境内は無料だが、本堂の内陣拝観は有料。また、往路のバスは1時間に1便程度ある。

Model Course 8

犬鳴山（いぬなきさん）

【葛城第八経塚（犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽）】

葛城修験の根本道場、七宝瀧寺（しっぽうりゅうじ）から経塚や行場のある頂へ

犬鳴山七宝瀧寺は、役行者開基と伝わる葛城修験の拠点のひとつであり、大峯山より早く開山されたので、元山上とも呼ばれる。一般の目に触れる行場は行者（ぎょうじゃ）の滝をはじめとする滝群だが、周辺の山中には表行場や裏行場をはじめ数多くの行場が設けられている。

犬鳴山温泉は小さいながらも大阪府下では唯一の温泉郷。犬鳴山バス停から温泉街を抜けて渓谷沿いに七宝瀧寺を目指す。総門からが寺域となり、雰囲気が一変する。両界ノ滝や塔ノ滝を見ながら、本堂に向かう。

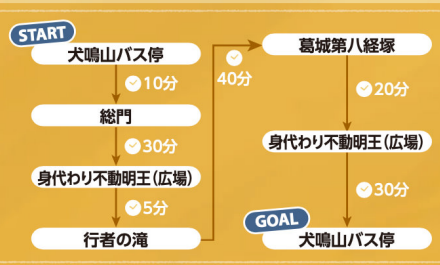
犬鳴山の名の由来となった義犬の墓を左上に見ると、やがて右手に大きな身代わり不動明王像の立つ広場がある。不動明王像の右手奥に第八経塚のある経塚権現山への登り口がある。いったん本堂と、一日修行体験で一般でも滝行ができる行者の滝に参ったあと、登山道に取り付く。

ここからはこれまでの遊歩道とは一変し、登山道となる。急坂を登り切り、右へ向かい護摩場のある燈明ヶ岳へ。ここは七宝瀧寺の奥之院で、鳥居と石祠がある。さらに尾根伝いに登ると第八経塚がある。

ここからは往路をたどって引き返すが、登山も合わせて楽しみたいなら経塚権現山を越え、右に分岐する道をたどって天狗像のある天狗魔王岳へ足を延ばすのが一般的だ。

歩行距離 ◆ 約4km	体力レベル ☆☆★
歩行時間 ◆ 2時間15分	登山レベル ☆☆☆

コースタイム



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


総門からが聖域となる


身代わり不動明王前の広場。右手奥に登山道


行者の滝は犬鳴山の行場ではよく知られている


麓にある大木地区が見える燈明ヶ岳

アクセス

往復

南海本線 泉佐野駅 ⇔ 34分 南海ウィングバス ⇔ 犬鳴山バス停

＊JR阪和線日根野駅からは南海ウィングバス犬鳴山ゆきで26分
＊JR阪和線熊取駅からは和歌山バス那賀粉河駅前ゆきで15分

アドバイス

前半は遊歩道歩きだが、山中は急坂の登山道。トレッキングシューズで臨むこと。本堂の奥、清瀧堂の先は有料。天狗魔王岳は登山ではよく登られているが、手前のロープ場は注意。東の大天上ヶ岳へは難路である。

Model Course ⑨

和泉葛城山（いずみかつらぎさん）

【葛城第九経塚（嶺の龍王）】
【葛城第十経塚（大威徳寺）】

天然記念物のブナ林に覆われた山頂にたたずむ経塚と、紅葉の名所で知られる牛滝山

山頂部のブナ林が、この標高では南限域にあることから天然記念物に指定されている和泉葛城山。山頂には雨乞い信仰に篤い高龗神社が祀られ、葛城第九経塚が建つ。登山道はいくつかあるが、登拝道の趣がある塔原（とうのはら）からの登山道で登り、ハイキングコースで人気のある地蔵さん登山道を下って、第十経塚のある牛滝山大威徳寺を訪れる。

塔原バス停には、近畿自然歩道の案内板があるので、およそのコースの概念を頭に入れておこう。山の手に進むと道はコンクリート敷に変わり、新旧の石標がある分岐に着く。ここから右の登山道に入る。道は尾根伝いに高度を上げていく。燈籠跡のある枇杷平を過ぎると、やがて舗装路を横切る。ひと登りすると再び道路に出て、しばらくは舗装路歩きとなる。道標にしたがい右に派生する道に入るとブナ林の説明板がある。再び登山道となって周囲がササに包まれ始めると鳥居があり、その先に続く階段を登ると山頂だ。高龗神社と経塚に参り、そのまま和歌山県側に下るとすぐに道路に出る。展望を楽しみたいのであれば、山頂で右に折れると大阪湾を一望する円形の展望台がある。

道路を左にとり、トイレを過ぎた交差点で左の道を下っていこう。30分ほど下ると二十一丁地蔵があり、ここから道路を外れ、地蔵さん登山道へ。点々と路傍に鎮座する丁石地蔵に見送られながら下り、道路に出たら左へ。七丁地蔵のあるところを右に下って渓流に下り立ち、錦流の滝や一ノ滝を観瀑しながら紅葉の名所で知られる牛滝山大威徳寺に向かう。

第十経塚は山門手前左の梵字岩がそれとされている。山門を出てしばらく行くと牛滝山バス停がある。バスの時間までたっぷりあるようなら、少し歩いて牛滝温泉で汗を流して帰路についてもいい。

歩行距離 ◆ 約8km	体力レベル ☆☆★
歩行時間 ◆ 3時間35分	登山レベル ☆☆☆

コースタイム

START 塔原バス停
↓ 40分
枇杷平
↓ 1時間10分
葛城第九経塚
↓ 40分
二十一丁地蔵
↓ 1時間
葛城第十経塚
↓ 5分
GOAL 牛滝山バス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


塔原道の中腹にある枇杷平。燈籠の名残が残る


地蔵さん登山道では丁石地蔵が点々と見守る


和泉葛城山山頂の展望台からは大阪湾を一望


紅葉の名所として有名な大威徳寺。多宝塔は重文

アクセス

往路
JR阪和線 東岸和田駅
↓ 40分 南海ウィングバス
塔原バス停
＊南海本線岸和田駅からは46分

復路
牛滝山バス停
↓ 51分 南海ウィングバス
南海本線 岸和田駅
＊31分の久米田で下車、徒歩5分でJR阪和線久米田駅

アドバイス

本コースは登山となるのでトレッキングシューズで臨もう。人気のある山だけに、道標はよく整備されているので迷うところはない。行き帰りのバスは便数が少ない。事前確認を。なお、2022年現在、地蔵さん登山道は、並走する道路崩落のために、大事をとって通行止めの措置が取られている（復旧時期未定）。

Model Course ⑩

七越峠から桧原越え

【葛城第十一経塚(七越峠経塚山)】

古い峠越えの道をたどり 西国巡礼の道・桧原越えで、 西国札所の施福寺へ

和泉山脈の主稜線にある第十一経塚方面に向かうために、このコースでは大阪府側、七越峠の宿山に縁が深い父鬼から、登りごたえのある峠道でアプローチする。

父鬼バス停を降りると、そこに八坂神社と行場の観音寺がある。父鬼の由来を書いた案内板もあるので読んでおこう。しばらく父鬼川沿いをさかのぼる。乳滝不動尊、シェード入口の左手の鎖場の上に役行者像と続き、製材所手前で左の道に入る。道はやがて細くなり、林道となって林間に分け入っていく。やがてコンクリート敷の道から右に派生する道に入ると、七越峠への登り口がある。

登り始めるとすぐに古い丁石があるが、しばらく登ると未舗装林道に出て林道歩きとなる。尾根を回り込んだところで林道から派生する右の道に入ろう。しばらく古道らしい道が続くが、やがて何度も林道に出たり入ったりする。

登りつめると道標地蔵と西行歌碑がある七越峠にたどり着く。茶屋跡の広場には七越峠を説明した石碑もある。経塚は南西方面の経塚山にあるが、私有地で立入禁止のため、ここから経塚を遥拝しよう。

峠から緩やかに登ると、七大金剛童子あたりで、右に七大龍王社への下り道が派生する。龍王社へは3分ほどだ。道路歩きはレーダーのある三国山を過ぎても続き、牛坂入口から山道となる。

ここからは、「まきさん」を示す道標地蔵や丁石があり、古道の風情をたっぷり味わえる。分岐もあるが、道標にしたがえば施福寺へと導いてくれる。施福寺の山号、槇尾山は、役行者が最後に経を埋めたので「巻尾山」と付いたとする伝承がある。バス停まではまだ20分ほど下る。

歩行距離 ◆ 約14km	体力レベル ☆☆☆
歩行時間 ◆ 5時間5分	登山レベル ☆☆☆

コースタイム



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


父鬼バス停から少し登ると乳滝不動尊がある


道標地蔵の立つ七越峠。西行の歌碑もある


七越峠越え旧道の丁石。「さかの間十八丁」とある


西国巡礼道の桧原越えは粉河寺と施福寺を結ぶ古道

アクセス

往路

泉北高速和泉中央駅 → (44分 南海バス) → 父鬼バス停

＊南海本線泉大津駅発、JR和泉府中駅経由

復路

槇尾山バス停 → (12分 オレンジバス) → 槇尾中学校前バス停 → (26分 南海バス) → 和泉中央駅

＊南海バスは、JR和泉府中駅経由、南海本線泉大津駅行きもあり

アドバイス

本コースは登山となるのでトレッキングシューズで臨もう。七越峠までは林道が何度も交差、分岐する。和泉市の火の用心の黄色い標柱を頼りに進むこと。山上の道路に出たら、あとは迷うところはない。父鬼へのバス便は極端に少ないので、調べておくこと。槇尾山からのバス便は土日が比較的あるとはいえ、やはり少ない。

Model Course ⑪

四郷、堀越から光滝寺へ

【葛城第十二経塚(護摩のたわ朴留)】
【葛城第十三経塚(向かい多和)】
【葛城第十四経塚(光滝寺仏徳多和)】

串柿の里、四郷周辺をそぞろ歩き、光滝寺へと下る

晩秋に串柿の暖簾が集落を朱に染めることで知られる四郷。神野・堀越周辺は、2つの経塚をはじめ、葛城修験の見どころが集まっている。それらをめぐったあと、第十四経塚とされる光滝寺を訪れる。

堀畑バス停を降り、橋を渡って、神野・大久保方面へ堂川沿いにさかのぼる。道標にしたがい道を外れ、文蔵の滝へ。滝を正面に見るにはロープを伝うが、無理は禁物だ。観瀑したら、神野集落へ大きく折り返しながら登っていく。集落の中ほどに国の登録有形文化財の神野阿弥陀堂があり、村はずれに正楽寺と七大龍王社(モデルコース⑩参照)の遥拝所がある。神野阿弥陀堂と正楽寺は江戸末期に周辺をめぐった聖護院宮ゆかりの地だ。

神野阿弥陀堂前を北へ進むと、ベンチのある近畿自然歩道の一端に着く。ここで右に折れ、自然歩道を「堀越・蔵王峠」方面へ。自然歩道は山腹を行く未舗装林道でカーブも多く、葛城第十二経塚へは峠に出たところからすぐ左折、尾根上に続く未舗装道を折り返す。

経塚と自然歩道の折り返し点の峠から少し南に行くと林道が二股に分かれる。その二股の間の尾根に道が続いており、たどっていくと東ノ燈明岳の山頂で、役行者の祠がある。方向を90度西に変えて下っていくと展望台があり、その下で自然歩道と合流する。少し進んで、道標にしたがって、堀越癩観音へ。癩観音からは、駐車場の東に延びる道を進んで、葛城第十三経塚の向い多和を目指す。道路を外れるが道標があるのでわかるだろう。経塚から道路に戻り、三叉路を東へ進み蔵王峠へ。葛城蔵王権現社は和歌山側に回り込んだところにある。蔵王峠に戻り、河内長野(滝畑)方面に延々と下り、第十四経塚の光滝寺を参り、滝畑ダムのキャンプ場に至り、バス停を目指す。

歩行距離	約16km
歩行時間	4時間20分
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆☆☆

コースタイム

START 堀畑バス停
↓ 10分
文蔵の滝
↓ 35分
神野阿弥陀堂
↓ 1時間10分
葛城第十二経塚
↓ 15分
東ノ燈明岳
↓ 20分
堀越癩観音
↓ 10分
葛城第十三経塚
↓ 20分
蔵王峠(葛城蔵王権現社)
↓ 1時間
葛城第十四経塚(光滝寺)
↓ 20分
GOAL 滝畑ダムバス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


四郷の集落(串柿の里)にある神野地区は修験道に縁が深い


葛城蔵王権現社のある蔵王峠から滝畑に下る


役行者作と伝わる十一面観音様がご本尊の堀越癩観音


第十四経塚のひとつとされる光滝寺に参る

アクセス

往路

JR和歌山線 笠田駅
→ 19分 かつらぎ町デマンド型乗合タクシー →
堀畑バス停

復路

滝畑ダムバス停
→ 約50分 河内長野市日野・滝畑コミュニティバス →
南海高野線・近鉄長野線 河内長野駅

アドバイス

神野周辺は特に複雑なところはないが、2つの経塚の場所が道を外れるので少しわかりにくい。滝畑ダムから光滝寺の往復コースと、堀越癩観音からのラウンドコースに分割も可能。乗合タクシーは平日のみの運行で要予約。行きは笠田駅9時11分発、帰りも利用するなら堀畑バス停13時56分が最終便。土日祝はタクシーを利用する。

Model Course ⑫

南葛城山（みなみかつらぎさん）

【葛城第十四経塚（南葛城山鏡宿）】

南葛城山に一本杉の経塚を訪ね、紀見峠駅へ

葛城第十四経塚と考えられている場所は2カ所あり、一つは南葛城山山頂近くの一本杉（鏡ノ宿）にあり、もう一つは、籠の光滝寺の中にあると言われている。コース11で、光滝寺を訪ねたので、ここでは、高野口駅から一本杉ハイキングコースで経塚を訪ね、比較的交通の便利な紀見峠駅へと下山する。

高野口駅からは、踏切を渡って北側にも出られるが、いったん南へ下って大和街道を歩くと、面白みが増す。江戸時代からの旧家、前田邸で右に折れ、大和街道を西へ。呉服店のあるところで右斜めの道に入り、消防倉庫のある角に出たら北へ。明治時代のレンガ造りのトンネルでJR線をくぐり、道なりに北上する。やや登りになり、周囲が開けると左に大きなタンクとゴミ処理場がある。このあたりから好展望の丘陵地となり、前方に南葛城山が見える。丘陵地が終わり広い道路に出ると左へ。次の信号で右折し山の手に向かう。大クスがある信太神社は役行者が修行中祈願した場所と伝わる。その先に嵯峨の滝があるので寄っていくといい。このあたりから一本杉ハイキングコースの道標が現れるので、以後はそれにしたがっていく。

九重の集落を抜け、果樹園を経て樹林帯に入り、九十九折に登っていく。道路歩きに疲れたころ、ようやく登山道に入り、一度林道を横断して一本杉に至る。紀見峠駅へは東に向かうが、西にすぐの南葛城山山頂にも立ち寄っておこう。一本杉からはダイヤモンドトレール（ダイトレ・紀見峠）方面へ。途中で林道に出てひたすら歩くと、阿弥陀山近くでダイヤモンドトレールと合流する。根古峰を過ぎるとやがて下りとなって岩湧山三合目に着く。紀見峠まで歩くと遠回りになるので、ここで右に折れ下っていく。林道に出たところに、越ヶ滝がある。林道を下っていくと、集落に出るので右に折れると紀見峠駅に着く。

歩行距離	約19km
歩行時間	5時間40分
体力レベル	☆☆☆
登山レベル	☆☆☆

コースタイム

START JR和歌山線高野口駅
↓ 1時間10分
信太神社
↓ 20分
九重北バス停
↓ 1時間
葛城第十四経塚（南葛城山鏡宿）
↓ 南葛城山往復10分
葛城第十四経塚（南葛城山鏡宿）
↓ 1時間30分
南葛城山（阿弥陀山）分岐
↓ 30分
岩湧山三合目
↓ 30分
越ヶ滝
↓ 30分
GOAL 南海高野線紀見峠駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


役行者ゆかりの信太神社には大クスがある


ひっそりとした南葛城山は和泉山脈最高峰


高野口の市街を望む九重からは山道となる


ダイヤモンドトレールの岩湧山三合目でひと息

アクセス

往路
JR和歌山線高野口駅

復路
南海高野線紀見峠駅

アドバイス

消防倉庫のある角を北上すれば、あとは迷うところはない。登りはほとんど車道歩きだが、後半は林道が混じるとはいえ未舗装で、ほぼ登山道と考えてよい。トレッキングシューズが望ましい。ロングコースになるので、飲料水は十分に用意していこう。信太神社から先は自動販売機などもない。

Model Course ⑬

流谷から岩湧寺・天見不動

（ながれだに　いわわきじ　あまみふどう）

【葛城第十五経塚（岩湧山）】
【葛城第十六経塚（流谷金剛童子）】
【葛城第十七経塚（天見不動）】

里にある経塚から山上の経塚へ
岩湧山周辺の３つの経塚をめぐる

和泉山脈の名峰、岩湧山は、ススキの広がる高原状の山頂で知られる。しかし、その名は読んで字のごとく、岩が湧き出るように峻険であることが由来で、修験の地として栄えた岩湧寺周辺の様子を表している。

天見駅から西へ、国道を出合ノ辻で横切り、流谷の集落へと入っていく。川向かいに古社の八幡神社があるが、神事に使われた南北朝時代の湯釜が伝わっている。下山に使う砥石谷を左に見て、緩やかに登っていくと、葛城第十六経塚流谷金剛童子の道標があるので、川を横断し、畑の際を通って竹藪の中の経塚を訪れる。

ここから行司河原分岐までは、竹ノタワと呼ばれる峠を越え、カタツムリトンネルを抜ける長い道路歩きだ。行司河原分岐からは南に進路をとり、岩湧寺のある「岩湧の森」を目指す。いくつか駐車場を見送り、第2駐車場を過ぎると岩湧登山古道の入口があるので、入っていく。すぐに右の「おちばの小道」に入って四季彩館を経由して、岩湧寺へ。第十五経塚は岩湧寺の先の道路をたどってゆく。坂を上ったカーブで右手に案内表示があるので入っていくと小ピークの先に経塚がある。

少し戻ってハイキングコースの「いわわきの道」へ。いわわきの道は展望所を経て五ツ辻の手前でダイヤモンドトレールと合流するので、紀見峠の表示を目指して進む。しばらく平坦路だが、下りになると三合目に着きその先で急坂となる。平坦になったところで砥石谷の分岐があるが、ここは見送り進むと、第十七経塚の天見不動がある。天見不動を拝したら、分岐まで戻り砥石谷への道をたどる。行きに歩いた道路に出たら、天見駅へ。

歩行距離	約16km
歩行時間	5時間10分
体力レベル	☆☆☆
登山レベル	☆☆★

コースタイム

START 南海高野線天見駅
↓ 40分
葛城第十六経塚
↓ 50分
行司河原分岐
↓ 40分
岩湧寺
↓ 10分
葛城第十五経塚
↓ 50分
五ツ辻
↓ 50分
岩湧山三合目
↓ 20分
葛城第十七経塚
↓ 50分
GOAL 天見駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



葛城第十五経塚岩湧山

葛城第十六経塚流谷金剛童子

岩湧寺本堂（奥）と多宝塔（手前）

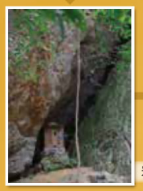
モデルコース⑩のルート上にある
桧原越えから見た岩湧山

※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


八幡神社付近から、天見富士の旗尾岳を見上げる


おちばの小道を登り岩湧の森の四季彩館へ


岩湧寺の臥龍洞



ダイヤモンドトレールの五ツ辻。ベンチがある


天見不動はダイヤモンドトレール上にある経塚だ

アクセス

往復

南海高野線天見駅

アドバイス

本コースでは3つの経塚をめぐるが、天見不動以外はわかりにくいところにある。岩湧寺からは登山になるので、トレッキングシューズで臨もう。余力があれば、ダイヤモンドトレールをそのまま紀見峠までたどっても面白い。

Model Course 14

岩瀬経塚山から神福山

【葛城第十八経塚(岩瀬経塚山)】
【葛城第十九経塚(神福山)】

岩瀬経塚山から ダイヤモンドトレール上の 修験の行所をめぐる

ダイヤモンドトレールの紀見峠・千早峠間は、金剛葛城山地が修験の行場であったことを実感できる場所。主稜線上はもちろんだが、その主稜線を挟んだ南北にもゆかりの地が多い。

千早口駅を出てすぐ南の線路を渡り、東へ向かう。カフェレストランを右に見た次の分岐で、右の谷沿いに入ろう。少し道を外れるが、谷向いに碑伝の置かれた塞ノ神がある。開けた谷に続く道を歩くとやがて林間に入る。道は2度分岐するが、ほぼ道なりのイメージで進む。林道終点まで来たら、右の谷筋の登山道へ。緩やかに登ると小さな峠に着く。経塚は、峠の右のロープの張られた急登を登り詰めた山頂にある。

峠に慎重に下り直進、尾根に出たら左にとって府庁山を越えてゆく。林道と合流したら間もなく十字峠に着く。峠の先、林道が左にカーブするところで右の小道に入る。再び林道に出たら林道を詰めていき、傾斜がなくなると道は主稜線に並行し、ダイヤモンドトレールの入口がある。

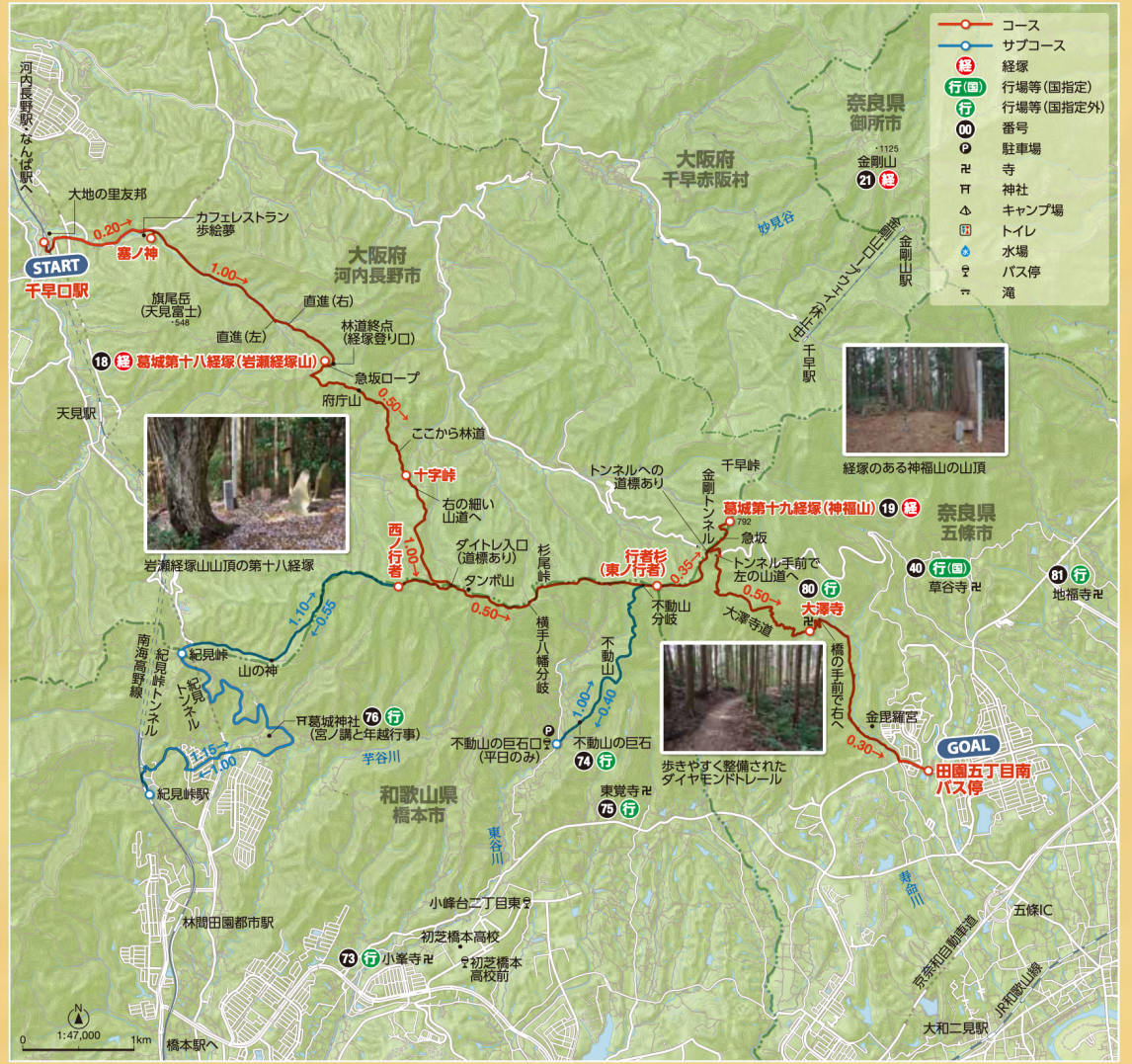
トレールに入ったら西へ。西ノ行者は大きな看板から少し入ったところに鎮座している。今度はダイヤモンドトレールを引き返し東に向かう。杉尾峠、東ノ行者の行者杉を経て、少し下ると金剛トンネルの下り口がある。いったん直進し、岩混じりの登山道をひと汗かいて神福山山頂の第十九経塚を参ってこよう。トンネル下り口から下るとトンネルの少し南に出る。トンネル方向に進むと左に登山口が開けているので入っていこう。小さな尾根を乗り越すと、左に大澤寺道が続いている(直進すると行者杉)。大澤寺道を下ると、大澤寺に着く。大澤寺からは川沿いに下り、広い道に出たら左で田園五丁目南バス停に着く。

歩行距離	約16km
歩行時間	5時間55分
体力レベル	☆☆☆
登山レベル	☆☆☆

コースタイム

START 南海高野線千早口駅
↓ 20分
塞ノ神
↓ 1時間
葛城第十八経塚
↓ 50分
十字峠
↓ 1時間
西ノ行者
↓ 50分
行者杉(東ノ行者)
↓ 35分
葛城第十九経塚
↓ 50分
大澤寺
↓ 30分
GOAL 田園五丁目南バス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


岩瀬経塚山へはロープの付いた急坂を登っていく


東ノ行者ともいう行者杉


ダイヤモンドトレール、タンボ山あたりの自然林


五條市の古刹、大澤寺。役行者の草庵が起こりという

アクセス

往路
南海高野線千早口駅

復路
田園五丁目南バス停 → (11分 奈良交通バス) → JR和歌山線五条駅(五條バスセンター)

アドバイス

本コースは終始登山なので、足元はトレッキングシューズで。岩瀬経塚山の上り下りは、ロープはあるが慎重に対処しよう。帰りのバスは便数が少ない。五條バスセンター行きも含めて調べておこう。

Model Course ⑮

金剛山（こんごうさん）

【葛城第二十経塚（石寺跡）】
【葛城第二十一経塚（金剛山）】

金剛葛城山地の盟主、金剛山登山
葛城の里から登り、千早の集落へ

標高1125mの金剛山は、大阪府側からも奈良県側からも多くの登山道が通じているが、古道も多い。その昔、山中にはいくつもの山岳寺院があったが、現在は山頂直下に転法輪寺のみが残っている。葛城第二十経塚のある石寺跡もその名残のひとつだ。

スタートは風の森バス停。バス停近くにある葛城の道案内板を見て出発する。まずは、全国の加茂神社の総本宮、高鴨神社に立ち寄ろう。そばに葛城の道歴史文化館もある。次に目指すのは高宮廃寺跡だ。道標を頼りに山の手に向かい、弁天洞のある大杉の先で民家の間を抜け、登山道に取り付く。国指定史跡の高宮廃寺跡までは林道だ。廃寺手前で左に石寺道が分岐するが、先に廃寺跡に立ち寄ってから、登山道を登っていこう。ひと登りした広場が石寺跡で、そこに鎮座する大岩が経塚となっている。登りつめると伏見道と合流してダイヤモンドトレール上の伏見峠に着く。

峠から右へ向かい、ログハウスのある広場や展望台を横目に進むと、ササをかぶった湧出岳（わきでだけ）への道が右に派生する。登っていくと、葛城第二十一経塚のある湧出岳山頂だ。経塚の北に続く林道を下って、ダイヤモンドトレールに再合流する。ここには出迎え不動の広場がある。一ノ鳥居をくぐり、一言主神を祀る葛木神社、続いて転法輪寺へ。ちなみに金剛山の最高点、葛木岳山頂は神社の裏手で立ち入りは禁止だ。

売店の前を通り、国見城跡で展望を楽しんだ後は、千早本道で下る。金剛山のメイン登山道で、登山者も多い。一気に下ってもいいが、ここでは楠木正儀の墓の先で左へ、日本百名城の楠木正成の山城、千早城跡を経由していこう。長い石段を下ってバス道に出たら右で金剛登山口バス停、直進すれば、行所の多聞寺跡がある千早集落だ。

歩行距離 ◆ 約11km	体力レベル ☆☆☆
歩行時間 ◆ 4時間15分	登山レベル ☆☆☆

コースタイム

START 風の森バス停
↓ 15分
高鴨神社
↓ 45分
高宮廃寺跡
↓ 20分
葛城第二十経塚
↓ 1時間
伏見峠
↓ 25分
葛城第二十一経塚
↓ 10分
転法輪寺
↓ 1時間
千早城入口
↓ 多聞寺跡往復20分
GOAL 金剛登山口バス停

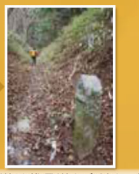
※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


風の森から葛城の道へ。正面に金剛葛城の山並み


石寺道は伏見道と合流し、伏見峠へ。丁石もある


国指定史跡の高宮廃寺跡には礎石のみが残っている


楠木正成の難攻不落の城、千早城跡から金剛山を見る

アクセス

往路

近鉄御所線 御所駅 → 17分 奈良交通バス → 風の森バス停

＊御所市コミュニティバス利用の場合、所要32分（内回り循環）

復路

金剛登山口バス停
- 35分 南海バス → 南海高野線・近鉄長野線 河内長野駅
- または
- 34分 金剛バス → 近鉄長野線富田林駅

アドバイス

本コースは終始登山なので、足元はトレッキングシューズが必要。登山道はよく整備されているので迷うところはない。金剛山の山頂近くには、行場のひとつ、岩屋文殊もある。役行者が修行し楠木正成が知略を授かったという岩屋で、時間があれば立ち寄りたい。千早の多聞寺跡は場所がわかりにくいので地元の人に尋ねよう。

Model Course 16

葛城の道（かつらぎのみち）

【葛城第二十二経塚（水越多和）】
【葛城第二十三経塚（倶尸羅）】

田園風景ののどかな 葛城の道を歩いて 2つの経塚と役行者誕生の地へ

大和葛城山の麓は、古代史が彩る地で、葛城の道が整備されている。古い時代には、大和葛城山だけではなく金剛山も含めて葛城山（葛木山）と呼んだ。金剛山の山裾にある第二十二経塚を遥拝し、葛城の道を散策する。少し距離は離れるが、役行者が誕生したという茅原の吉祥草寺にも足を延ばそう。

名柄バス停で下車して山の手に向かう。道なりに進み、国道を横断して関屋集落に入る。山裾に沿って進むと、集落の外れに葛城水分神社がある。葛城第二十二経塚の大田和地蔵は、水越川を挟んだ向かいの山中にあるので、ここから遥拝しよう。

葛城水分神社からもと来た道に戻り、名柄の集落に入る。旧家の中村家住宅まで来たら、あとは葛城の道の道標を頼りに歩くことができる。一言主神社の石鳥居の角で左に折れ、参道を「いちごんさん」で知られる葛城一言主神社へ。一言主は葛城一帯の地主神で、古事記のほか、役行者の物語にも登場する。一言だけ願いを聞いてくれるという信仰がある。

次に山裾を歩いて九品寺へ。裏にある千体石仏で有名な寺だ。このあたりからのどかな田園風景となり、大きな石に刻まれた六体地蔵石仏まで続く。葛城第二十三経塚は、六体地蔵石仏のある十字路を北へ直進したところにある。地蔵寺跡といわれ、町中にあるだけに掃き清められている。五輪塔が経塚とされている。六体地蔵石仏が第二十三経塚との説もある。

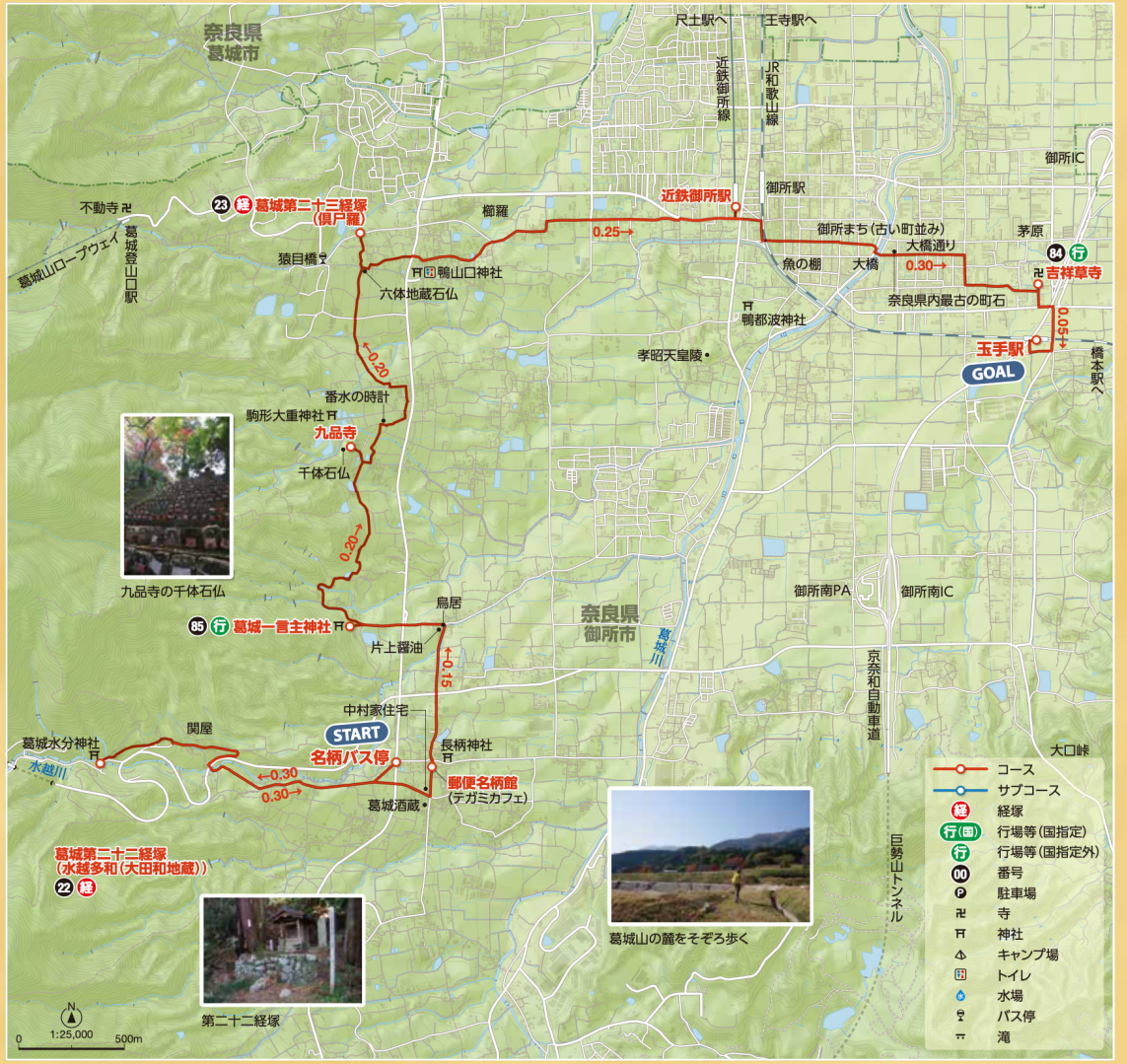
六体地蔵石仏に戻り、近鉄御所駅に向けて下っていこう。途中には鴨山口神社がある。近鉄御所駅まで来たら信号を渡り、直進、JR線手前で右に折れ、小ぢんまりした商店街を抜け左折する。御所まちの古い町並みを抜けて吉祥草寺へ。帰りは玉手駅が近い。

歩行距離	約15km
歩行時間	2時間55分
体力レベル	☆☆★
登山レベル	☆★★

コースタイム

START 名柄バス停 →30分→ 葛城水分神社 →30分→ 郵便名柄館 →15分→ 葛城一言主神社 →20分→ 九品寺 →20分→ 葛城第二十三経塚 →25分→ 近鉄御所駅 →30分→ 吉祥草寺 →5分→ GOAL JR和歌山線玉手駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


名柄にある郵便名柄館は、カフェと郵便資料館が併設


「いちごんさん」で親しまれる葛城一言主神社の参道


関屋から天気がよければ遠く大峰山脈が望める


御所まちあたりには、古い町並みが残っている

アクセス

往路

近鉄御所線 御所駅 →（35分 / 御所市コミュニティバス）→ 名柄バス停

＊所要時間は外回り循環（内回り循環の場合は約47分）

復路

JR和歌山線玉手駅

アドバイス

コースはすべて車道歩きなので、堅いトレッキングシューズは向かない。葛城酒造から北、六体地蔵石仏までは「葛城の道（いわゆる葛城古道）」として道標が整備されているので確かめながら歩くとよい。名柄へのバス便は少ないので事前に調べよう。帰りの電車はJR和歌山線の本数が少ないので、近鉄御所駅に戻るほうが早い場合も。

Model Course ⑰

岩橋山（いわはしやま）

【葛城第二十四経塚（平石峠）】
【葛城第二十五経塚（高貴寺香華畑）】

行場の巨岩群が見どころ 名石コースをたどって 岩橋山に登る

岩橋山は、山頂だけ見ればダイヤモンドトレールの通過点に過ぎないように見えるが、その西側斜面には奇岩がいくつもあり、葛城修験の行場となっている。平石（ひらいし）バス停から、道標にしたがい名石コース（Bコース）を目指す。道標は最初は岩橋峠の表示になっているが、バス道を左に外れ、川沿いに行くと、数々の名石とともに岩橋山が表示されている。棚田の奥が登山口だ。登山道はしばらく川沿いに続くが、川を渡ると急登となる。ひと踏ん張りすると登山道脇に人面石があり、鍋釜石へはその上部で左に登山道を外れる。次の鉾立石は右に外れたところに屹立し、基部に碑伝が置かれている。登山道をさらに登ると、左に胎内くぐりへの道が派生する。山腹を進んだ後、大きく下らなければならないが、行場のひとつなので立ち寄りたい。胎内くぐりから登り返して登山道に戻り、道が緩やかになると、久米の岩橋がある。人面石以外は江戸時代の『河内名所図会』にも描かれており、昔から知られていたことがわかる。

岩橋からダイヤモンドトレールはすぐで、左に一投足で岩橋山山頂に着く。ダイヤモンドトレールをそのまま北へ下り続けると平石峠に下り着き、第二十四経塚がある。平石峠からは西へ下っていく。国定公園の碑があるところで、右に折れて、第二十五経塚のある高貴寺へ。経塚は本堂の奥にあり、立ち入れないので、本堂に手を合わせる。高貴寺からは山腹の道で磐船神社へ。斜面にある巨岩が祀られている。

帰りは、神社の鳥居を出て右の山道を下り、道路に出て左に下ったらすぐ右手にある平石城跡への登山道に取り付く。興味があれば平石城跡を見学して、道標にしたがいつつ、近つ飛鳥風土記の丘を目指す。

歩行距離 ◆ 約9km	体力レベル ☆☆★
歩行時間 ◆ 3時間55分	登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 平石バス停 →10分→ 登山口 →鉾立石・胎内くぐり経由 1時間10分→ 岩橋山 →45分→ 葛城第二十四経塚 →30分→ 葛城第二十五経塚 →5分→ 磐船神社 →30分→ 平石城跡 →45分→ GOAL 近つ飛鳥博物館前バス停

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


胎内くぐりや久米の岩橋など、奇岩をつなぐ


高貴寺本堂。経塚は左手奥にあるが無断立入禁止


トレールの通過点のような岩橋山の山頂の広場


岩橋山を背にして近つ飛鳥風土記の丘に向かう

アクセス

往路

近鉄長野線 富田林駅 →18分 金剛バス→ 平石バス停

復路

近つ飛鳥博物館前 バス停 →16分 金剛バス→ 近鉄長野線 喜志駅

アドバイス

全般に登山道を歩くので、足元はトレッキングシューズで。道標もよく整備されているので、迷うところはないが、高貴寺から磐船神社へは山腹の水平道を行くので念頭に。時間が合えば、磐船神社参拝後、平石バス停から帰途に就いてもよいが、便数が極端に少ない。行きの便も調べておくこと。

Model Course 18

二上山（にじょうざん）

【葛城第二十六経塚（二上山）】
【葛城第二十七経塚（逢坂）】

役行者ゆかりの古刹をめぐり 万葉の山、二上山の経塚へ 奇勝・どんづる峯にも足を延ばす

雄岳・雌岳からなる双耳峰、二上山は、大阪・奈良いずれの側からもよく目立ち、万葉の昔から親しまれてきた山だが、雄岳山頂に経塚があることはあまり知られていない。東麓には當麻寺や石光寺など役行者にまつわる古寺が多く、見どころとなる。

ダイヤモンドトレール最北の山であり、ダイトレ起点である「どんづる峯」も葛城修験の行場だ。また、第二十七経塚は、個人宅内にあるので、近隣の大坂山口神社に詣でて、経塚を拝したとしておこう。

当麻寺駅を出て、参道を西に直進すると當麻寺にいたる。當麻寺の境内には役行者ゆかりの史跡がいくつかある。塔頭のひとつの中之坊には、役行者が和薬・陀羅尼助を作るために加持したという井戸が残る。東塔を借景とした庭園も見事だ。行者を祀る竹之坊を見て北門から出る。役行者が開山したといわれている中将姫ゆかりの石光寺、高雄寺を経由して一本柱の傘堂に向かい、二上山へ。祐泉寺で道は2手に分かれるが、左の道で岩屋峠に登る。峠直下に、中世に第二十六経塚であった国史跡「岩屋」があるので、立ち寄っていこう。

峠からは雌岳の西斜面の山腹道を行く。春には桜の道となる。左にダイトレ北入口分岐が現われるが、いったん馬の背に上がり、雄岳に登って経塚に手を合わせて行こう。分岐からは北へ、アップダウンしながら高度を下げ、ダイトレ北入口から東へ。穴虫峠の馬頭観音は旧道沿いにある。峠を越えると左に、どんづる峯の入口がある。顕著な山頂はないが、凝灰岩の露出した奇勝として知られる。

そのまま道路を東へ向かい、穴虫交差点で北側の道に入って農道を経由して二上駅へ。駅を越えて踏み切りを渡り、道なりに東へ。案内にしたがい左折して、大坂山口神社に参る。

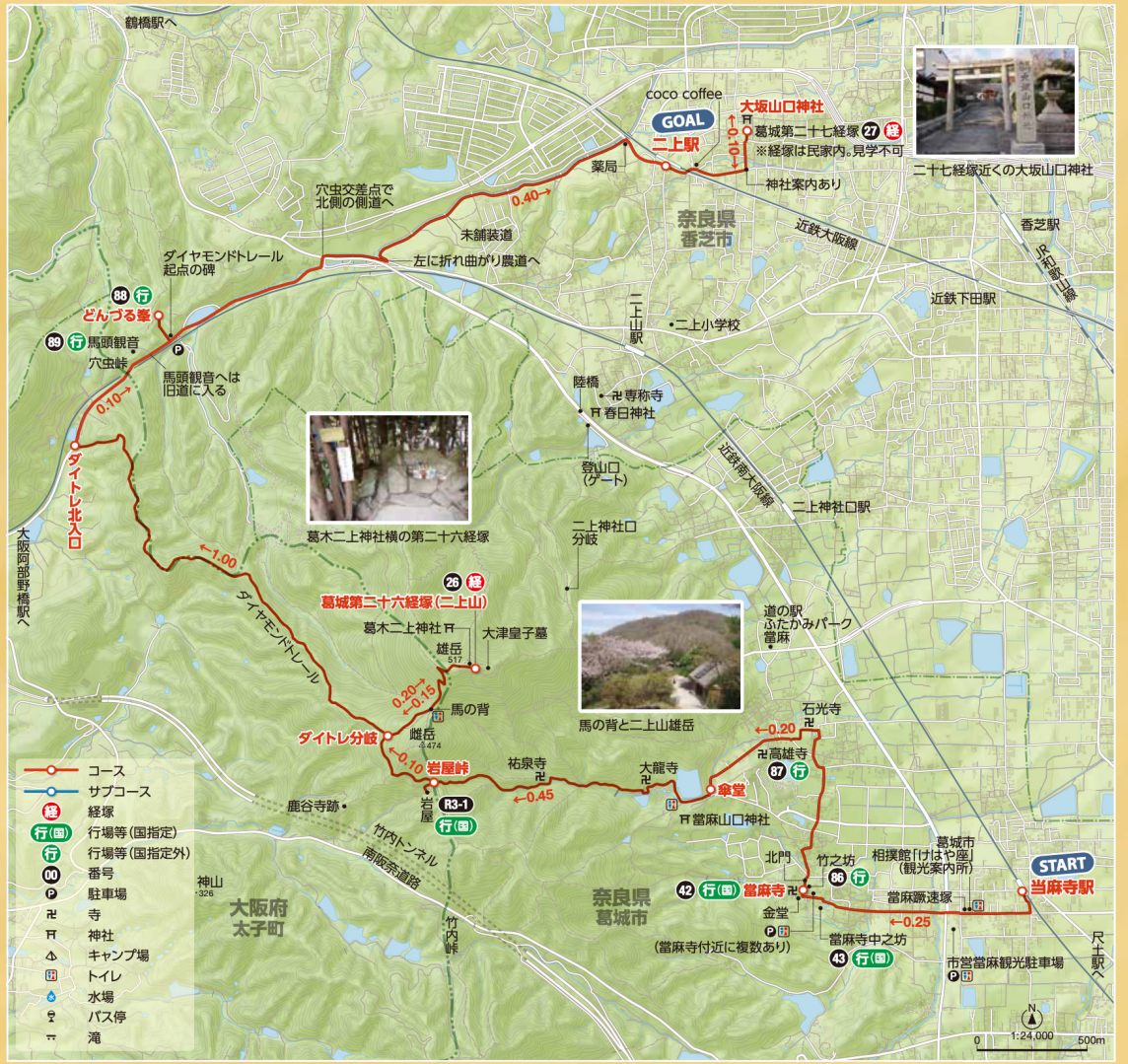
歩行距離 ◆ 約13km
歩行時間 ◆ 4時間15分

体力レベル ☆☆★
登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 近鉄南大阪線当麻寺駅
↓ 25分
当麻寺
↓ 石光寺経由20分
傘堂
↓ 45分
岩屋峠
↓ 10分
ダイトレ分岐
↓ 20分
葛城第二十六経塚
↓ 15分
ダイトレ分岐
↓ 1時間
ダイトレ北入口
↓ 10分
どんづる峯
↓ 50分
大坂山口神社
↓ 10分
GOAL 近鉄大阪線二上駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


中将姫が織り上げた當麻曼荼羅が本尊の當麻寺と二上山


ダイヤモンドトレールから見上げる双耳峰の二上山


岩屋から桜の咲く雌岳周遊路を馬の背に向かって歩く


どんづる峯は鶴が屯するように見えたのが名の由来

アクセス

往路
近鉄南大阪線当麻寺駅

復路
近鉄大阪線二上駅

アドバイス

おおむね登山になるのでトレッキングシューズを。當麻寺から二上山へは、石光寺や高雄寺を経由しなければ、10分ほど短縮される。中之坊拝観は有料だが、庭園や霊宝殿のほか、行者の大釜や井戸、役行者が深蛇大王を勧請した龍王社などもある。石光寺も要拝観料。また、日時計のある雌岳山頂へは馬の背から5分。

Model Course ⑲

明神山から亀の瀬

【葛城第二十八経塚(亀の尾宿・明神山)】

二十八宿最後の経塚へ
金剛葛城を一望する明神山から
大和川に浮かぶ亀石へ

紀淡海峡友ヶ島に始まる葛城二十八宿は、大和川に浮かぶ亀石を拝して終わる。亀の尾宿にある亀石と、大和川南岸の明神山が葛城第二十八経塚とされる。

関屋駅から西へ向かい、まずは矢除身替観音で知られる観音寺へ。楠木正成の胸を貫いたと思われた矢が、ふところに入れた観音経にささって正成は無事だったと伝わる観音である。境内には立派な役行者像があり、裏山には行場の三輪神社がある。寺を辞して民家の間を西に抜け突き当りを右、トンネルを抜けたところの左手に明神山への登山口がある。ひと息で尾根に上がって快適な尾根道を北へ。行場の関屋地蔵まで来たら方角を東に変える。多少アップダウンはあるが、こちらも尾根通しの道で時折展望も開ける。途中で一度方向転換するので、道標を見落とさないよう注意しておこう。少し下ると明神山の周遊路に出て東屋がある。東屋の横から直登すると、展望デッキの設けられた明神山頂上で、その中心に水神社がある。ここを二十八経塚とする説もある。南には金剛葛城の峰々が、北には信貴山がすぐそこに見える。

山頂から東の登山道は舗装路で、途中石標のある送迎峠で古道を左に見送り、藤井ルートの分岐で藤井ルートに入る。下り切って右、西蓮寺の前を通って国道に出る。少し東にある大正橋を渡って北岸に出て、峠八幡神社経由で、亀の瀬へ。地すべり資料室の先で左に大きくカーブし、道路を外れて龍王社に行こう。亀石は、新亀の瀬橋の少し下流に横たわっている。

龍王社を拝したら、亀石を横に見て、北岸に通る道を進んで河内堅上駅へと向かおう。

歩行距離 ◆ 約10km
歩行時間 ◆ 3時間

体力レベル ☆☆★
登山レベル ☆☆★

コースタイム

START 近鉄大阪線関屋駅
↓ 10分
観音寺
↓ 20分
関屋地蔵
↓ 1時間
葛城第二十八経塚(明神山)
↓ 15分
藤井ルート分岐
↓ 25分
大正橋
↓ 30分
龍王社
↓ 20分
GOAL JR関西本線河内堅上駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報


役行者像がある矢除身替観音寺。三輪神社はその奥


明神山山頂。手軽な山だけにハイカーの姿が絶えない


明神山への尾根道は時折展望が開けて快適に歩ける


大和川の中にある亀石。第二十八経塚とされる

アクセス

往路
近鉄大阪線関屋駅

復路
JR関西本線河内堅上駅

アドバイス

標高は低いが登山になるのでトレッキングシューズの方が望ましい。明神山登山口は特に道標はないが、「火の用心19」の看板が目印になる。明神山から亀の瀬へは、送迎峠から古道のひるめ越道を下ると近いが、私有地があるので通れない。ちなみに明神山は元旦の初日の出登山でも人気がある。

日本遺産「葛城修験」の構成文化財

※ここに掲載されているのは、日本遺産として認定された「葛城修験―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」の、ストーリーの構成文化財です。

経塚

名称	分類	所在地
❶ 友ヶ島・序品	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
❷ 神福寺跡・方便品	未指定(史跡)	大阪府泉南郡岬町
❸ 大福山・譬喩品 雲山峰・譬喩品	未指定(史跡) 未指定(史跡)	和歌山県和歌山市 和歌山県和歌山市
❹ さくら地蔵・信解品	未指定(史跡)	大阪府阪南市
❺ 倉谷山・薬草喩品	未指定(史跡)	和歌山県紀の川市
❻ 志野峠・授記品	未指定(史跡)	和歌山県紀の川市
❼ 中津川・化城喩品	未指定(史跡)	和歌山県紀の川市
❽ 犬鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽・五百弟子受記品	未指定(史跡)	大阪府泉佐野市
❾ 嶺の龍王・授学無学人記品	未指定(史跡)	和歌山県紀の川市
❿ 大威徳寺・法師品	未指定(史跡)	大阪府岸和田市
⓫ 七越峠経塚山・見宝塔品	未指定(史跡)	大阪府和泉市
⓬ 護摩のたわ朴留・提婆達多品	未指定(史跡)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
⓭ 向い多和・勧持品	未指定(史跡)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
⓮ 南葛城山鏡宿・安楽行品 光滝寺仏徳多和・安楽行品	未指定(史跡) 市名勝	和歌山県橋本市 大阪府河内長野市
⓯ 岩湧山・従地湧出品	府名勝	大阪府河内長野市

名称	分類	所在地
⓰ 流谷金剛童子・如来寿量品	未指定(史跡)	大阪府河内長野市
⓱ 天見不動・分別功徳品	未指定(史跡)	大阪府河内長野市
⓲ 岩瀬経塚山・随喜功徳品	未指定(史跡)	大阪府河内長野市
⓳ 神福山・法師功徳品	未指定(史跡)	奈良県五條市
⓴ 石寺跡・常不軽菩薩品	未指定(史跡)	奈良県御所市
㉑ 金剛山・如来神力品	未指定(史跡)	奈良県御所市
㉒ 水越多和・嘱累品	未指定(史跡)	奈良県御所市
㉓ 倶尸羅・薬王菩薩本事品	未指定(史跡)	奈良県御所市
㉔ 平石峠・妙音菩薩品	未指定(史跡)	大阪府南河内郡河南町
㉕ 高貴寺香華畑・観世音菩薩普門品	未指定(史跡)	大阪府南河内郡河南町
㉖ 二上山・陀羅尼品	未指定(史跡)	奈良県葛城市
㉗ 逢坂・妙荘厳王本事品	市有形建造物	奈良県香芝市
㉘ 亀の尾宿・普賢菩薩勧発品 明神山・普賢菩薩勧発品	未指定(史跡) 未指定(史跡)	大阪府柏原市 奈良県北葛城郡王寺町


⓱天見不動・分別功徳品


㉑金剛山・如来神力品

行場等（国指定・国登録）

名称	分類	所在地
㉙ 加太春日神社	国重文(建造物)	和歌山県和歌山市
㉚ 根來寺	国宝(大塔)・国重文(大師堂他多数)・国史跡(境内)	和歌山県岩出市
㉛ 粉河寺	国重文(建造物)	和歌山県紀の川市
㉜ 日根荘遺跡 日根荘大木の農村景観	国史跡 国重要文化的景観	大阪府泉佐野市 大阪府泉佐野市
㉝ 火走神社	国史跡	大阪府泉佐野市
㉞ 奥家住宅	国重文(建造物)	大阪府泉佐野市
㉟ 松尾寺	国重文(美術工芸品)・府指定(史跡、建造物、美術工芸品、天然記念物)・市指定(美術工芸品)	大阪府和泉市
㊱ 槇尾山施福寺	国重文(美術工芸品)・府指定(美術工芸品)・市指定(美術工芸品)	大阪府和泉市
㊲ 丹生都比売神社境内	国史跡	和歌山県伊都郡かつらぎ町
㊳ 神野阿弥陀堂	国登録(建造物)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
㊴ 岩湧寺	国重文(建造物)・市有形(建造物)	大阪府河内長野市
㊵ 草谷寺	国指定(美術工芸品)・市指定(美術工芸品)	奈良県五條市
㊶ 金剛山	国史跡	奈良県御所市

名称	分類	所在地
㊷ 當麻寺	国宝(當麻曼荼羅他)・国重文多数	奈良県葛城市
㊸ 當麻寺中之坊	国史跡・名勝	奈良県葛城市
R3-1 岩屋	国史跡	大阪府南河内郡太子町


㉛粉河寺


㊲丹生都比売神社


㉟松尾寺


㊵草谷寺

行場等（国指定外）

名称	分類	所在地
㊹ 観念窟	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
㊺ 深蛇池	県天然記念物	和歌山県和歌山市
㊻ 闕伽井跡	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
㊼ 神島剣池	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
㊽ 加太春日神社　えび祭り	未指定(無形民俗)	和歌山県和歌山市
㊾ 紀州加太浦「採燈大護摩供」	未指定(無形民俗)	和歌山県和歌山市
㊿ 阿字ヶ峰行者堂	未指定(建造物)	和歌山県和歌山市
(51) 加太淡嶋神社	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
(52) 常行寺	県天然記念物	和歌山県和歌山市
(53) 西念寺	未指定(建造物)	和歌山県和歌山市
(54) 鳴滝山圓明寺（鳴滝不動尊）	未指定(建造物)	和歌山県和歌山市
(55) 大福山本惠寺（直川観音）	未指定(建造物)	和歌山県和歌山市
(56) 墓の谷行者堂	未指定(建造物)	和歌山県和歌山市
(57) 中山王子跡	未指定(史跡)	和歌山県和歌山市
(58) 慈眼院	未指定(史跡)	大阪府泉南郡岬町
(59) 高仙寺	未指定(史跡)	大阪府泉南郡岬町
(60) 根来寺伽藍古絵図	県有形(歴史資料)	和歌山県岩出市
(61) 中津川行者堂	未指定(建造物)	和歌山県紀の川市
(62) 熊野神社	市指定建造物	和歌山県紀の川市
(63) 犬鳴山（七宝瀧寺）	府名勝	大阪府泉佐野市
(64) 葛嶺雑記	未指定(歴史資料)	大阪府泉佐野市
(65) 政基公旅引付	未指定(歴史資料)	大阪府泉佐野市
(66) 行者の滝を含む７つの滝	未指定(名勝)	大阪府泉佐野市
(67) 葛城踊り	府無形民俗	大阪府岸和田市
(68) 意賀美神社　雨降りの滝	市天然記念物	大阪府岸和田市

名称	分類	所在地
(69) 笹踊り	未指定(無形民俗)	大阪府和泉市
(70) 堀越窮観音	未指定(建造物)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
(71) 葛城蔵王権現社	未指定(建造物)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
(72) 天女山正楽寺	未指定(史跡)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
R3-2 四郷千両踊り	未指定(無形民俗)	和歌山県伊都郡かつらぎ町
(73) 小峯寺	未指定(建造物)	和歌山県橋本市
(74) 不動山の巨石	未指定(史跡)	和歌山県橋本市
(75) 東覚寺八大龍王・葛城明神春祭り	未指定(無形民俗)	和歌山県橋本市
(76) 宮ノ講と葛城神社年越し行事	未指定(無形民俗)	和歌山県橋本市
(77) 行者まいり	未指定(無形民俗)	和歌山県橋本市
(78) 光滝寺	市名勝	大阪府河内長野市
(79) 光滝寺炭焼不動尊	市有形民俗	大阪府河内長野市
(80) 大澤寺	県指定(美術工芸品)・市指定(美術工芸品)	奈良県五條市
(81) 地福寺	未指定(建造物)	奈良県五條市
(82) 多聞寺跡	未指定(史跡)	大阪府南河内郡千早赤阪村
(83) 転法輪寺	未指定(建造物)	奈良県御所市
(84) 吉祥草寺	未指定(建造物)	奈良県御所市
(85) 葛城一言主神社	未指定(建造物)	奈良県御所市
(86) 當麻寺竹之坊	未指定(建造物)	奈良県葛城市
(87) 高雄寺	県指定(美術工芸品)	奈良県葛城市
(88) どんづる峯	県指定(天然記念物)	奈良県香芝市
(89) 穴虫峠の馬頭観音	未指定(彫刻)	奈良県香芝市
(90) 観音寺、三輪神社	未指定(建造物)	奈良県香芝市
(91) 関屋地蔵尊	未指定(彫刻)	奈良県香芝市


(58)慈眼院


(68)意賀美神社 雨降りの滝


(62)熊野神社


(81)地福寺


(74)不動山の巨石


(91)関屋地蔵尊

葛城修験とは



葛城二十八宿最初の経塚が立つ、友ヶ島虎島の序品窟へ向かう修験者たち

山に伏し、山に生きる日本独特の宗教、修験道。その祖である役優婆塞小角、いわゆる役行者は、大和葛城山の麓、現在の御所市茅原に生まれた。はるか昔の7世紀、飛鳥時代のこと。

修験の聖地として、紀伊半島を縦断する大峯奥駈道が知られるが、それを拓く以前、役行者は、生まれ故郷の山並みに法華経8巻28品を埋めたとされる。埋納した場所は諸説あるものの、和歌山県友ヶ島に始まり、和泉山脈を西から東へ、金剛葛城山地を南から北へ、そして大和川へとつながる長大な道となる。やがてその山並みの各所に行場が生まれ、周辺の人々の暮らしに根付いていった。この山脈を舞台とする修験道を、葛城修験と呼ぶ。役行者が修行した場所、開基した寺院、関わりを持った鬼神ゆかりの地、母公の墓など、興味深い場所も数多い。

昔話ではなく、現代に至るまで受け継がれ、今でも修験者（行者、山伏）らが、祈りをささげ修行する葛城の峰々は、多様な宗教観を持ち自然とともに生きてきた日本人の心のふるさとということもできる。





左／犬鳴山七宝瀧寺の役行者像

上／那智山青岸渡寺、聖護院門跡、三井寺などたくさんの碑伝（ひで）が置かれた西ノ行者。碑伝はここで修行をしたという証

葛城修験の道を歩くときの心得

敬虔な気持ちで訪れましょう

経塚をはじめとして、行場や霊蹟は、遠い昔から現代まで、1000年以上にわたり、修験者が祈りをささげている場所です。行楽とは違い、敬虔な気持ちをもって訪れましょう。

地元の方たちとのふれあいを大切にしましょう

葛城修験は、里に近い山々を舞台としており、里の人々の生活や信仰に深く根を下ろしています。修験にまつわる寺社や地蔵尊、祠などは地元の人々が、長い間、大切に守り伝えてきたものです。その思いを胸に、地元の人々と出会ったらあいさつを交わしましょう。

実力を考慮してコースを選びましょう

金剛葛城紀泉の山々は、ハイキングや登山の場として親しまれていますが、紹介コースには厳しい道も含まれており、管理・整備された道とは限りません。登山は自己責任の場です。コース内容をよく確認して、自分の実力に応じたコースを歩きましょう。また、不慮の事故などが起こった場合、一人では対処できないことがあります。できる限り複数で出かけるようにしましょう。

計画をしっかりと練りましょう

コースには、交通が不便で、バスの便数が限られるものがあります。携帯電話が通じない所も多いので、事前に下調べをして、時間に余裕をもって出かけましょう。記載のコースタイムは歩行時間のみで休憩は含まれません。1時間から1時間30分はプラスして計画を立てましょう。登山コースの場合は関係諸機関に登山届を提出しましょう。

登山アプリを活用しましょう

葛城修験の道々は迷いやすい場所なども複数出てきます。紙の地図だけで不安な方は、山の中でも現在地などが分かる登山アプリ「YAMAP」等を併用して登山に臨みましょう。

登山装備を準備しましょう

紹介コースは登山となるところがほとんどです。トレッキングシューズ、レインウェアなどの登山用具を準備し、食料、飲料水を充分に携行するようにしましょう。

マナーを守りましょう

訪れる場所は、一般に認知されたハイキング・登山コースばかりではなく、私有地も多く含まれます。ゴミや火の始末はもちろんのこと、騒いだり、コース外のところに立ち入ったりしないようにしましょう。現地で看板などに指示があれば、それに従いましょう。



大阪奈良府県境の自然歩道、ダイヤモンドトレールを歩くことも多い



ロープを頼りにしたり赤テープを目印に歩く場所もある